

大雨への備え

大雨による災害は、近年、久留米市内でも頻繁に発生しています。大雨が降ると浸水や洪水、土砂崩れのリスクが高まり、皆さんの生活に影響する可能性があります。このため久留米市では、皆さんの安全安心のために大雨災害対策を強化しています。今回の特集では、久留米市企業局が取り組む浸水対策と皆さんが実践できる大雨災害対策について紹介します。



久留米市企業局では、どのような浸水対策をしているの？

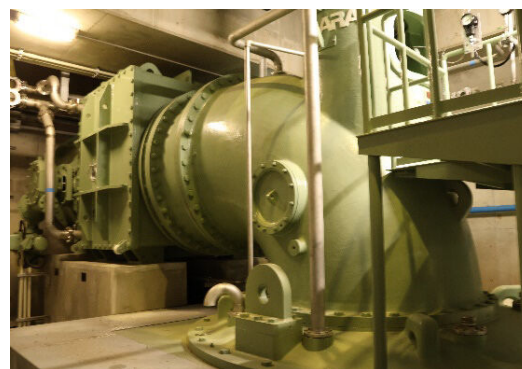
久留米市企業局でもさまざまな浸水対策に取り組んでいます。ここでは、排水ポンプと雨水貯留施設について紹介します。



浸水対策① 篠山排水ポンプ場の増強

排水ポンプ場とは…

大雨により筑後川などの川の水位が上がると、そこに流れ込む川への逆流を防ぐために水門を閉めることがあります。水門を閉めると、行き場を失った雨水で家や道路が浸水することがあります。そのような被害を防ぐため、ポンプの力で雨水を川に流す施設を排水ポンプ場といいます。



久留米市旭町にある篠山排水ポンプ場では、令和6年度にポンプ1台を増設し、1秒あたり34t（お風呂170杯分）の雨水を筑後川に流せるようになりました。

	増設前	増設後
ポンプ台数	2台	3台
排水能力	28t/秒	34t/秒

図 下水道施設課

浸水対策② 久留米大学雨水貯留施設の整備

雨水貯留施設とは…

雨水を一時的に貯めることができる施設のことで、下流域の川の水位が上がるのを抑えます。

久留米市御井町にある久留米大学雨水貯留施設は、久留米大学のグラウンドを活用した施設で、令和5年度に完成しました。下弓削川の支流である井田川の水位が上昇すると、最大21,800t（25mプール約50杯分）の雨水を貯めることができ、久留米大学周辺及び井田川下流域の浸水被害を軽減します。

令和6年7月1日の大雨では、約5,000tの雨水を貯留しました。

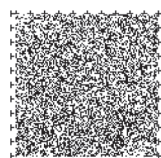
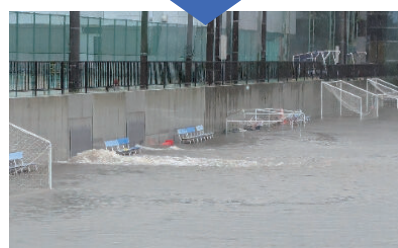
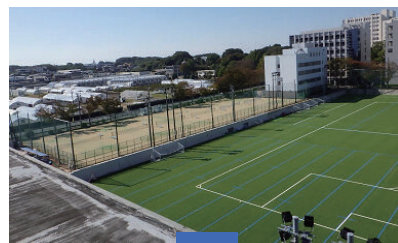


図 都市建設部河川課



この他にも国県市が一体となって流域全体の様々な浸水対策に取り組んでいます。



私たちにできる大雨対策はあるかな？

あります。対策をまとめてみたので、身の回りの安全を確保したうえで、実践してみてくださいね。



下水道対策

図 給排水設備課 排水設備チーム

① 風呂水などの排水を控える

大雨時は下水処理場において流入水が増加し、処理に支障をきたします。そのため、風呂水などの排水をできるだけ控えていただくよう、ご協力お願いします。

② トイレなどに水のうを置く

大雨により下水道管内の水量が増加すると、汚水が逆流し、排水口などから吹き出してしまうことがあります。トイレなどから「ゴボゴボ」と音がしたり流れが悪いときは、ビニール袋に水を入れた「水のう」を置くと汚水の逆流を抑える効果があります。



浄化槽対策

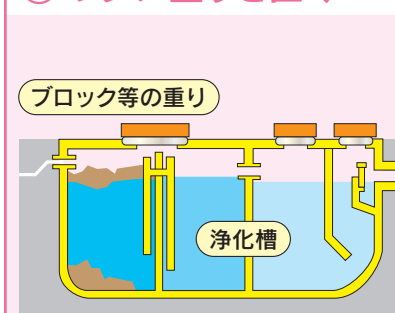
図 給排水設備課 浄化槽チーム

① ブローを高い場所に置く



ブロー（浄化槽ポンプ）は、水に浸かると故障する恐れがあります。浸水しそうな時は、一時的に屋内や高いところなどに避難させましょう。

② フタに重りを置く



浸水時は浄化槽のフタが浮き、流されることがあります。フタをしっかりと閉め、その上に重りを置いて流出を防ぎましょう。

その他の対策 雨水貯留タンクや雨水浸透桝を設置する



雨水貯留タンクとは、屋根に降った雨水を一時的に貯める設備です。また、雨水浸透桝とは、雨水を地中に浸透させるための設備です。

雨水の流出を抑えることで川や水路の負担を減らし、浸水被害を減らすだけでなく、貯まった雨水は庭の水やりや災害時の備えとして活用できます。

久留米市では、設置費用を一部補助する制度があります。

設置条件や申請方法など、詳しくはホームページをご確認ください。

図 都市建設部河川課



『 透き通る 誇れる水に 感謝する 』

6月1日～7日は水道週間です



水道週間に合わせ、市内の小学4年生（現5年生）を対象に水道週間児童図画コンクールを実施しました。入賞作品は6月頃にホームページへ掲載予定です。

絵：令和6年度最優秀賞 鳥飼小学校 森 萌愛さん

